

音楽徘徊中の奇遇ではしゃぐ

まあ、今回も笑わないで聞いてください。ちょっと長いけど。

頭注

1. ビーゼズ：今では爺さんのポップスグループ。美爺ズ？代表曲は、1968年マサチューセッツ、1978年サタデー・ナイト・フィーバーその他多数。
2. セリーヌ・ディオン：カナダ人美人歌手。代表曲は、1997年映画タイタニックのテーマ曲、マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン、1998年イモータリティ（IMMORTALITY＝不滅。「芋タルト」で「胃もたれて」ではない）その他多数。

3. 私目の音楽略歴

元来音痴で、カラオケも苦手であるが、聞くのは苦にならない。

10代、20代は、ポップス中心で、アンプを自作するなどしました。

その後30年間位は、すっかりご無沙汰。

10年位前から杉並図書館の出先で、気に入りそうなCDを何百枚も借り、片っ端からコピーをした。そう、コピーが好きなのである。

今は、テレビでクラシック音楽番組を見たり（全てダビングしてある）、ユーチューブでネット・サーフィンをしている。

本題：セリーヌ・ディオン様とビーゼズ

10年位前にセリーヌ様のCDでイモータリティを聴きこんでいた。今月、ユーチューブ徘徊中、アンドレア・ボチェッリとセリーヌ様のお気に入りのデュエット曲 THE PRAYERのそばに、たまたま、イモータリティを見つけたので聞いてみた。

何とセリーヌ様とビーゼズの共演であり、調べたら、ビーゼズがセリーヌ様のために作曲した曲とのことであった。すごい巡り合わせにビックリ！

めでたし、めでたし